



株式会社UKCホールディングス  
**株主様へのご案内**

**2016年3月期(第7期)**  
2015年4月1日~2016年3月31日  
証券コード：3156

特 集

- ▶ 中長期的な会社の経営戦略 …………… p.2
- ▶ 第6期(2015年3月期)株主様アンケート結果 … p.5
- ▶ FeliCa / NFCビジネスの展望 …………… p.5

# 私たちは United Knowledge Company です。

私たちがUKCグループに集うのは、  
私たち一人一人の持つ知識や経験、  
能力を一つにより合わせることにより、  
これを思ってもみなかった  
大きな力とすることができるからです。  
その結果、私たちの得意とする  
エレクトロニクスの分野で、  
お取引様のお役に立ち、  
ひいては社会・世界の発展に貢献できれば、  
これ以上の喜びはありません。  
グループにいる一人一人が  
思う存分その能力を発揮し、  
いつも笑顔で仕事ができるよう、  
そう私たちは願っています。

## 株主の皆様へ(トップメッセージ)

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素からの皆様のご支援、ご高配に心より厚く御礼申し上げます。

2016年3月期における当社グループは、EMS（電子機器受託製造サービス）事業を含むスマートフォン向け需要により、売上高、営業利益ともに前年同期比で増加いたしました。一方、第4四半期の急激な円高傾向に伴う為替差損の拡大により、経常利益は前年同期比で減少、また、一部投資有価証券の評価損を特別損失に計上したこともあり、親会社株主に帰属する当期純利益も前年同期比で減少となりました。2017年3月期も引き続き厳しい事業環境が予想されますが、迅速な経営判断のもと、効果的・効率的な事業運営に努めてまいります。

当社グループが属しておりますエレクトロニクス業界におきましては、スマートフォン市場の成長の鈍化により半導体市場の減速が予想されるなど足元は楽観できない状況にあります。自動車の電子化やIoT（もののインターネット化）の進展により、新たな成長機会が創出されつつあります。

このような環境下、当社グループは、ソニー製の半導体・電子部品事業を軸とし、自社工場におけるEMS等の高付加価値事業の拡大、取扱い製品の拡張、外部提携も含めた新規事業の創出に引き続き注力してまいりました。EMS事業におきましては、2016年4月より、ベトナム・ハノイ近郊のハナム省の新工場が操業を開始いたしました。当社グループのEMS事



業は年間300億円に迫る規模となっており、スマートフォンや液晶パネルの生産需要が旺盛なベトナムへの進出により、いっそうの事業拡大を目指してまいります。

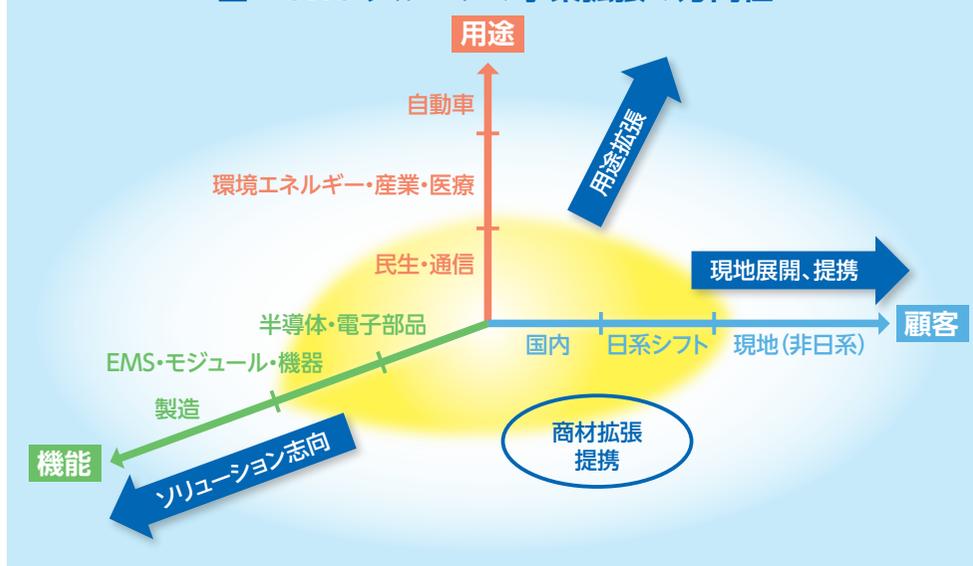
さて、当社は2015年11月18日に加賀電子株式会社との間で、経営統合に関する基本合意書を締結し、経営統合に向けた協議を進めてまいりましたが、諸条件の合意に至らず、2016年4月22日に同協議を中止することについて両社間で合意いたしました。今後は、激動するエレクトロニクス業界において、仕入先及び販売先のお取引先様から信頼される商社として、引き続き顧客、用途、機能等のあらゆる面で事業領域を拡張することにより、継続的な成長と企業価値向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、海外シフトを含む日本・韓国メーカーを顧客とした民生・通信用途の半導体・電子部品販売、電子機器販売、EMS事業を主たる事業領域としてきました。中期的には、事業領域を以下の顧客軸、用途軸、機能軸で拡げていくことで、利益を伴う成長の実現を図ってまいります。今回は、この一年の事業拡張の具体的な取り組みと進捗についてご報告します。

図：UKCグループの事業拡張の方向性



### 顧客軸

顧客軸では、民生を中心とした国内顧客やスマートフォン用途の韓国顧客から、成長地域（中国、アセアン）の現地顧客（メーカー）への拡張が主な取り組みとなります。海外現地顧客への販路構築に向けた外部提携の模索は継続的に行っており、インドでは、市場拡大が期待されるケーブルTV向けSet Top Boxビジネスで現地企業と提携を行っております。また、日本の販売推進機能（技術／市場性検討）を軸に、各拠点において発掘した商材のグループ展開を加速させております。

### 用途軸

用途軸では、レンズ交換式デジタルスチルカメラやスマートフォンから、ウェアラブル等のスマートデバイスに加えて、成長が期待できる環境・エネルギー、自動車、産業機器向けへの拡張が主な取り組みとなります。ADAS（先進運転支援システム）向けのソニー製イメージセンサーにつきましては、日本において2017年度以降の大型商談が決定しました。また、リア、全方位、車内監視用等に商談が拡大しております。イメージセンサー以外の自動車向けの商材の発掘も精力的に行っており、パワーマネジメント系で採用等の進捗がありました。産業機器・通信機器向けでは、光通信デバイス、産業用レーザーを製品群に追加し、2016年度より業績への寄与を見込んでおります。

### 機能軸

機能軸では、顧客の利便性を考慮すると、今後は個別商材の販売やその組み合わせにとどまらず、顧客のニーズを総合的に満たすシステム化（ソリューション化）が重要と考えています。その実現に向けて、当社グループの経営資源を補完するハード・ソフトウェア技術やサービスを外部から積極的に取り入れております。

2014年度に業務資本提携を開始したDMP（デジタルメディアプロフェッショナル）社とは、SoC／モジュールビジネス分野において、アミューズメント顧客との商談で成果が出始めております。

また、2015年4月に東京エレクトロン台湾より譲り受けたDDS事業は、初年度は市場の拡大が見込める北米や中東で関連展示会に参加することで存在感を拡大するとともに、新規商談の数を増やすことに注力しました。2年目の2016年度は事業の黒字化を目指しております。

さらには、車載向けイメージセンサー周辺のソリューション開発に向けて、外部と協業を開始しております。

# UKCグループの業績をご報告します

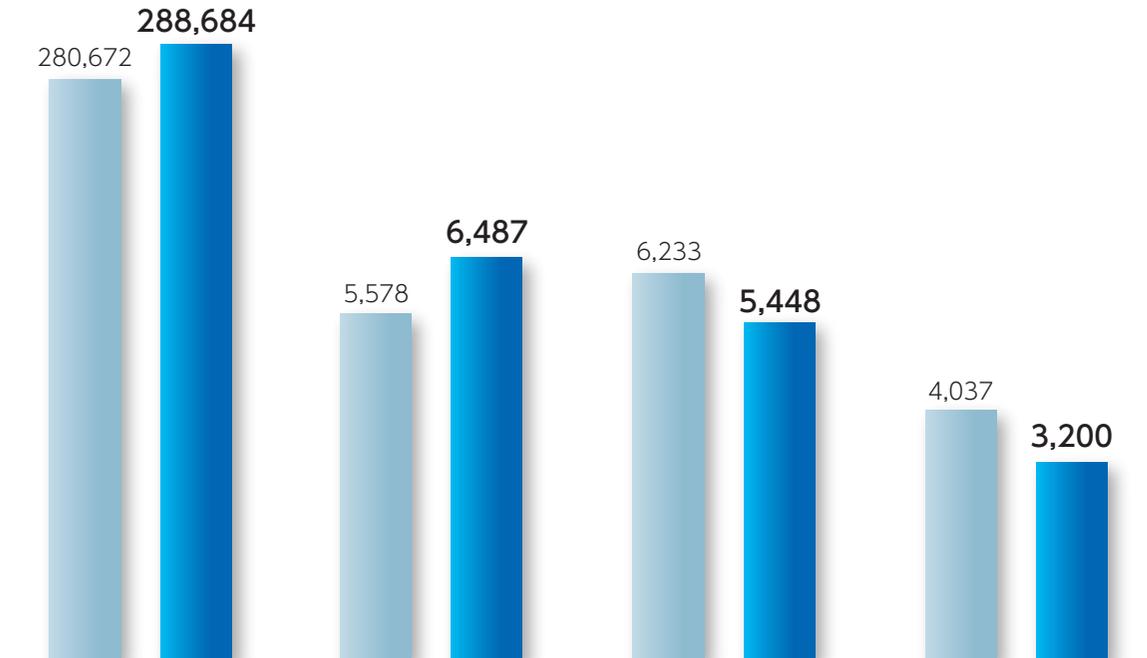
より詳細な情報は当社ホームページへ

UKC 決算短信

検索

## 連結損益計算書 (単位: 百万円)

■ 2015年3月期  
■ 2016年3月期



売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する  
当期純利益

Point

前年同期比

**+80.11** 億円  
(+2.9%)

ポイント

■主に、EMS事業を含むスマートフォン向け需要により前年同期比増

Point

前年同期比

**+9.09** 億円  
(+16.3%)

ポイント

■増収効果と利益率改善により前年同期比増

Point

前年同期比

**△7.84** 億円  
(△12.6%)

ポイント

■第4四半期の急激な円高傾向に伴う為替差損の拡大により前年同期比減

Point

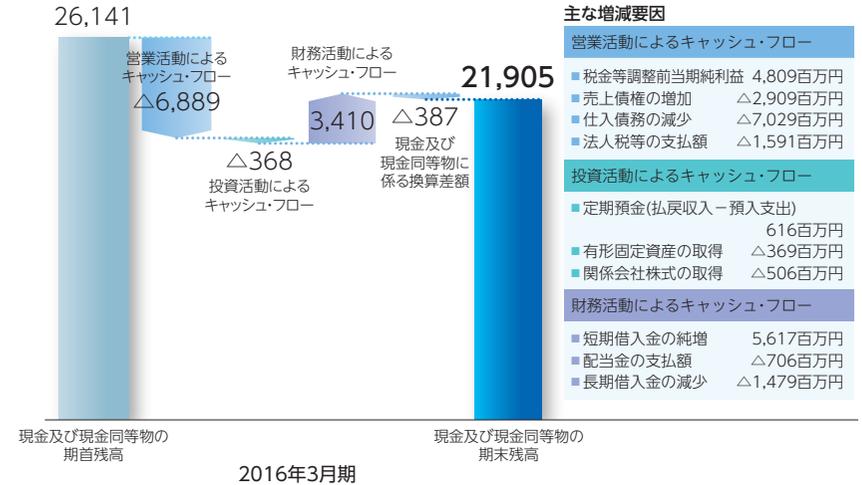
前年同期比

**△8.37** 億円  
(△20.7%)

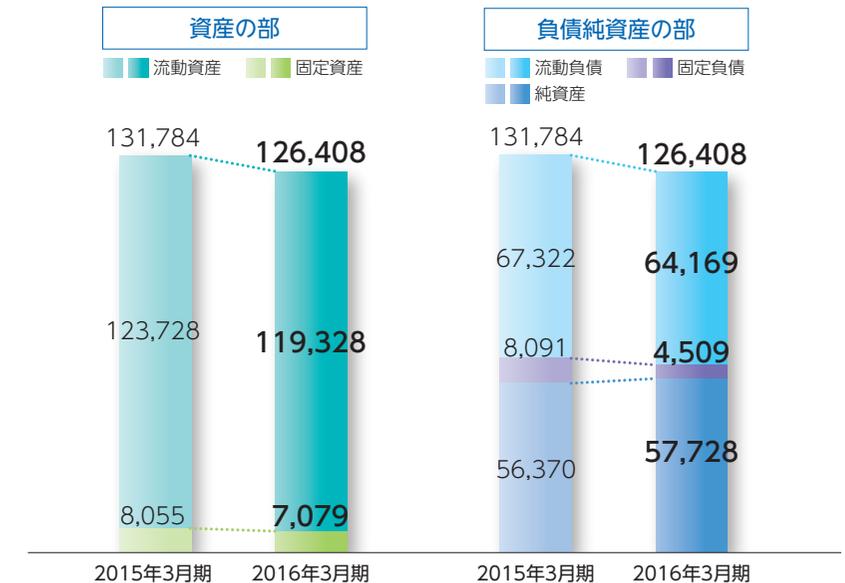
ポイント

■経常利益の減益に加えて、一部投資有価証券の減損損失を計上

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



## 連結貸借対照表 (単位: 百万円)



## UKCグループのセグメント別業績状況

UKCグループは、ソニー製を中心とした半導体及び電子部品並びに電子機器等を取り扱うエレクトロニクス商社です。

事業セグメントは、イメージセンサーやタッチパネル及び液晶パネル関連部材の取扱いを中心とする半導体及び電子部品事業、放送用カメラをはじめとする業務用製品の取扱いを中心とする電子機器事業、NFC<sup>※</sup>・FeliCa対応の非接触ICカード関連製品の取扱いを中心とするシステム機器事業の3部門に分かれます。競争力のあるこれらの取扱い製品に、専門エンジニアリング組織によるきめ細かな技術サポート、EMS(電子機器受託製造サービス)、半導体・電子部品の信頼性試験や環境物質分析サービスを組み合わせることにより、お客様に満足いただけるソリューションを提供しております。

※Near Field Communication：近距離無線技術の国際標準規格。ソニー規格FeliCaとの下位互換性を持つ。

## 電子機器事業

売上高構成比 **5.9%**

### 事業セグメント業績状況

電子機器事業におきましては、業務用電子機器の顧客需要の回復等により増収となりました。

以上の結果、売上高は172億11百万円(前年同期比10.0%増)、セグメント利益は1億80百万円(前年同期比37.7%増)となりました。



2015年6月に開催された「ケーブル技術ショー2015」に共信コミュニケーションズ(株)が出展



## システム機器事業

売上高構成比 **1.0%**

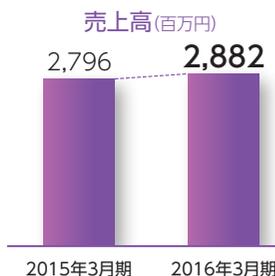
### 事業セグメント業績状況

非接触ICカード関連事業におきましては、電子マネー関連ビジネスの商談は引き続き活況に推移しているものの、一部顧客の在庫調整の影響により、売上は微減となりました。また、半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、車載向け等受注増により、増収となりました。セグメント利益は、先行投資等により販管費が増加したことに伴い、減益となりました。

以上の結果、売上高は28億82百万円(前年同期比3.1%増)、セグメント利益は1億37百万円(前年同期比37.1%減)となりました。



FeliCa・NFC対応 電子マネー決済端末「UFT-N15xシリーズ」<OEM提供品>



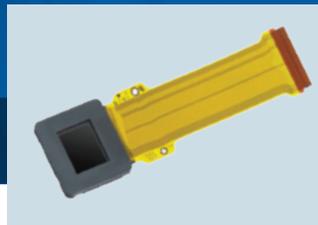
## 半導体及び電子部品事業

売上高構成比 **93.1%**

### 事業セグメント業績状況

半導体及び電子部品事業におきましては、主にEMS事業を含むスマートフォン向け需要により、増収、増益となりました。

以上の結果、売上高は2,703億88百万円(前年同期比2.7%増)、セグメント利益は63億76百万円(前年同期比17.0%増)となりました。



ソニー製デジタルカメラ用カラー有機ELディスプレイ「ECX334」(0.39型MOLED)



## トピック1 第6期(2015年3月期)株主様アンケート結果

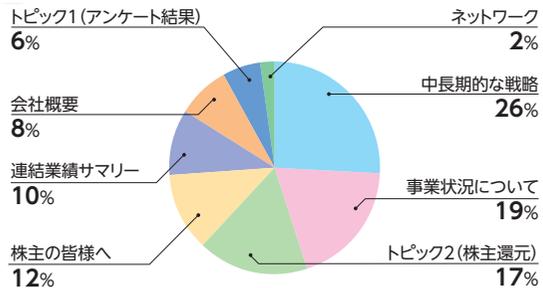
「第6期(2015年3月期)株主様へのご案内」に同封いたしました「株主アンケート」に、数多くの株主様よりご回答を頂戴しました。お忙しい中ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

以下に、今回の「株主アンケート」の結果の一部をご紹介します。

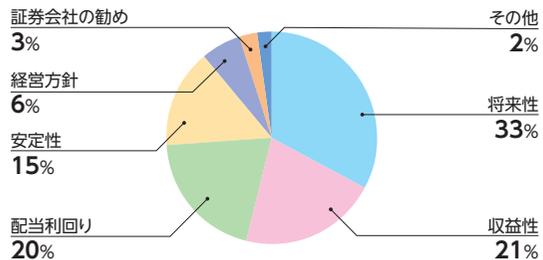
### 第6期(2015年3月期)「株主アンケート」概要

アンケート方法	冊子「株主様へのご案内」にアンケートはがきを同封して実施
アンケート対象人数	3,777名
アンケートご回答数	727名
アンケートご回答率	19.2%

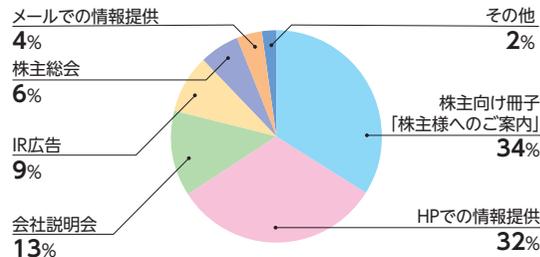
### 当冊子に興味をもった内容は何ですか？(3つまで可)



### 当社の株式を購入・継続保有する理由は何ですか？(2つまで可)



### 当社のIR活動において、特に充実を希望するものは何ですか？(複数回答可)



### 皆様からいただいたご意見・ご要望(一部抜粋)

- さらなる経営の向上と株主還元を期待しています。(50代、女性)
- 配当性向のターゲットが定められたことで、安心して長期保有したい。(60代、男性)
- ROEを高め、株価対策を積極的にしてほしい。(50代、男性)
- 具体的な中期計画の数値目標と経営戦略を結びつけた記載をしてほしい。(50代、男性)
- 経営戦略「3本の軸」は明快なコンセプトでわかり易い。早急な成功を期待している。(60代、男性)
- 海外拠点をもっと増やし、グローバル化を進めてほしい。(40代、男性)
- 知名度が今一つ足りません。積極的なPR活動で世間の知名度upを！(60代、男性)
- ホームページのIR情報を充実させて下さい。(40代、男性)
- 今回初めて株主総会に行きました。大企業の総会と違い、近くで経営陣を見て意見を聞くことができ、参考になりました。(40代、女性)
- 今後もアンケートを通じて株主とのコミュニケーションを図ってほしい。(30代、男性)

株主の皆様から頂戴しました貴重なご意見を活かし、さらなる企業価値向上及びIR活動の充実に向け努力してまいります。

今後も、株主の皆様とのより良いコミュニケーションの実現を目指し、定期的にアンケートを実施していきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## トピック2 FeliCa / NFCビジネスの展望

システム機器事業を営む当社グループの株式会社UKCテクノソリューションは、ソニーの非接触ICカード方式であるFeliCaの特約店として、電子マネー決済端末を中心にセキュリティ・民生機器などの関連製品を開発・販売しております。

### 世界につながるFeliCaの「かざす」

FeliCaは「かざす」だけで高速でのデータ送受信が可能なツールであり、2000年以降、日本やアジアを中心に交通・電子マネー・入退出管理等の分野で急速に普及し、今や私たちの生活に欠かせない社会インフラとなりつつあります。また、このFeliCaはNFC (Near Field Communication: 近距離無線技術の国際標準規格) に準じた技術であり、同じくNFC規格に準じる欧州圏を中心に普及している他の非接触ICカード技術との互換性を有しています。この互換性により、FeliCaは世界中の様々な地域での使用が可能となっております。

### 拡大するインバウンド需要をNFCで取り込む

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、NFCに注目が集まっています。2015年度のインバウンド(訪日外国人客)数は2,136万人と、前年度に比べ46%増加しました。2020年に向けて拡大するインバウンド需要を取り込むためには、訪日の際にネックとなる通貨や言語の壁を取り払うことが不可欠となります。

海外では小額の決済をより簡単にするため、非接触の機能を搭載したクレジットカードが増えてきています。NFCには訪日客があらゆるシーンでストレスを感じることなく「かざす」だけで自国同様に買い物を楽しめる環境を実現できる可能性があり、そこにビジネスチャンスがあります。

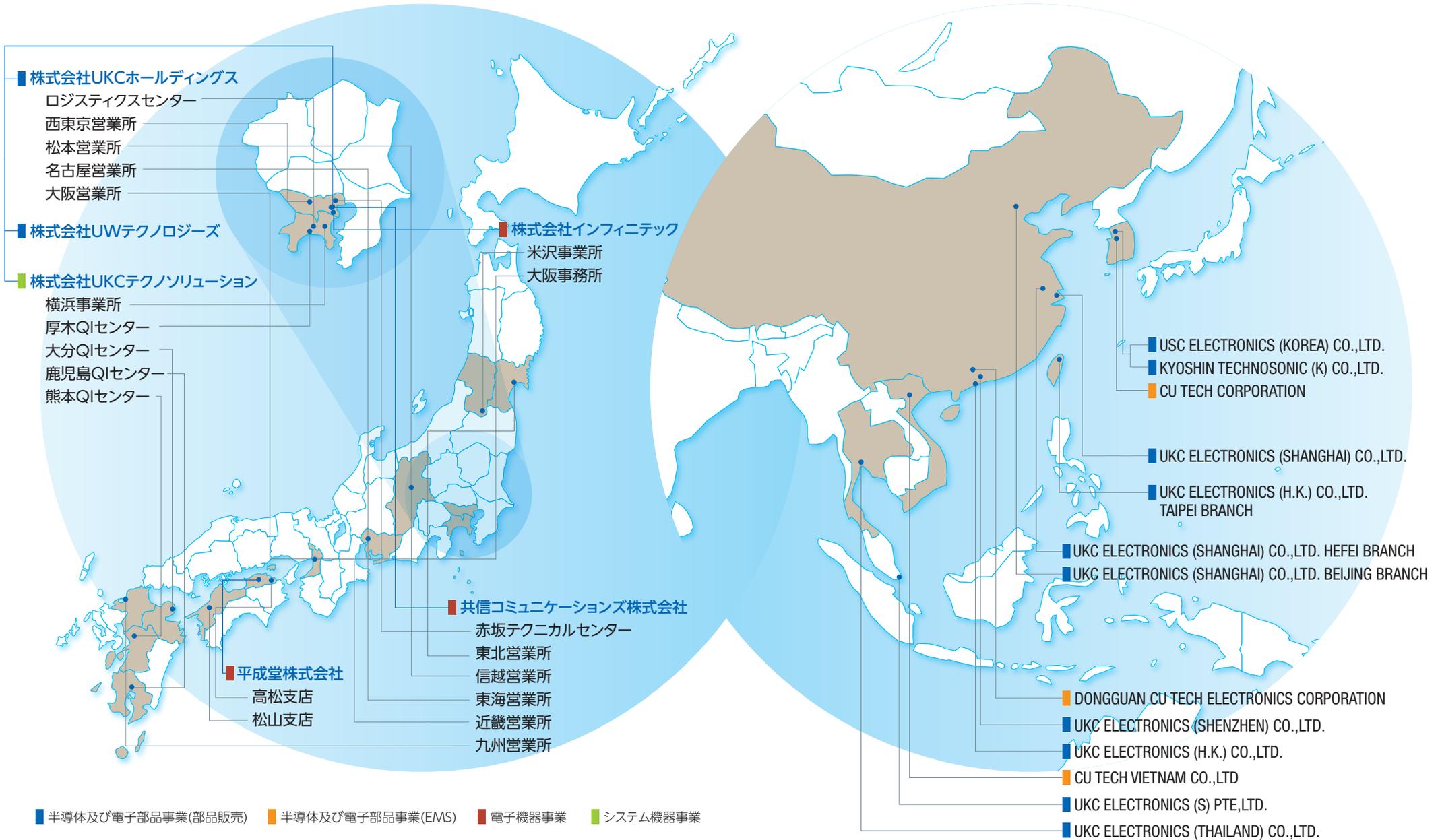
全てのものがインターネットにつながるIoT (Internet of Things) 社会の到来に向け、UKCテクノソリューションは「FeliCa / NFC」をキーテクノロジーとして、より便利な「かざす」を提供することに取り組んでいます。



FeliCaを用いた「かざす」決済の様子

国内

海外



## 会社概要 (2016年3月31日現在)

商号	株式会社UKCホールディングス (英文名：UKC Holdings Corporation)																
本社	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー15階 TEL 03-3491-6575 FAX 03-3491-7825																
設立	2009年10月1日																
資本金	43億83百万円																
事業内容	各種半導体・電子部品・電子機器、システム機器販売事業、半導体等の信頼性試験・環境物質分析サービス及び、EMS事業等を営むこと、並びにこれらの事業を営む会社の株式又は持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理すること																
従業員数	単体260名 連結1,375名																
取締役及び監査役 (2016年6月29日現在)	<table border="0"> <tr> <td>代表取締役社長</td> <td>福寿 幸男</td> </tr> <tr> <td>代表取締役副社長</td> <td>田口 雅章</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>井上 充治</td> </tr> <tr> <td>取締役(社外)</td> <td>大根田 伸行*</td> </tr> <tr> <td>取締役(社外)</td> <td>島崎 憲明*</td> </tr> <tr> <td>常勤監査役</td> <td>森田 清文</td> </tr> <tr> <td>監査役(社外)</td> <td>坂倉 裕司*</td> </tr> <tr> <td>監査役(社外)</td> <td>松村 幸祐</td> </tr> </table> <p>*東京証券取引所の特定期間外役員として届け出ております。</p>	代表取締役社長	福寿 幸男	代表取締役副社長	田口 雅章	取締役	井上 充治	取締役(社外)	大根田 伸行*	取締役(社外)	島崎 憲明*	常勤監査役	森田 清文	監査役(社外)	坂倉 裕司*	監査役(社外)	松村 幸祐
代表取締役社長	福寿 幸男																
代表取締役副社長	田口 雅章																
取締役	井上 充治																
取締役(社外)	大根田 伸行*																
取締役(社外)	島崎 憲明*																
常勤監査役	森田 清文																
監査役(社外)	坂倉 裕司*																
監査役(社外)	松村 幸祐																

## 株式の状況 (2016年3月31日現在)

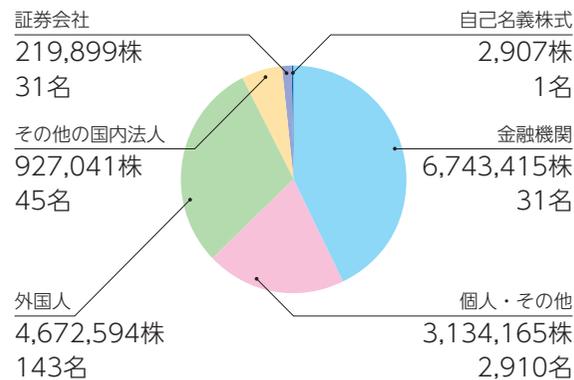
発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式総数	15,700,021株
株主数	3,161名

### 大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託ソニー株003口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	2,234	14.23
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,414	9.00
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	749	4.77
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	623	3.97
(株)三菱東京UFJ銀行	496	3.16
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	473	3.01
中山 邦子	374	2.38
(株)みずほ銀行	370	2.35
明治安田生命保険(相)	295	1.88
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	260	1.66

### 株式分布状況

所有者別株式数分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会：毎年3月31日
剰余金の配当の基準日	期末配当：毎年3月31日 ※中間配当を実施するときの基準日は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="http://www.ukcgroup.com/">http://www.ukcgroup.com/</a> ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページ	<a href="http://www.ukcgroup.com/">http://www.ukcgroup.com/</a>
証券コード	3156
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先(連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711

### 【お知らせ】

- 住所変更・単元未満株式の買取等のお問い合わせ先について  
お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に係る各種手続きについて  
下記の特別口座管理機関にお問い合わせください。  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-232-711
- 未払配当金のお支払いについて  
支払期間経過後の配当金につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店でお支払いいたします。ご郵送の場合は上記郵便物送付先までご送付ください。

株式会社UKCホールディングス  
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号  
ゲートシティ大崎イーストタワー15階  
TEL 03-3491-6575 FAX 03-3491-7825  
<http://www.ukcgroup.com/>

